

# 令和5年度 学生募集要項 入学案内

(出願書類添付)



区分	推薦選抜	学力選抜	帰国生徒特別学力選抜
WEB出願受付期間	令和4年12月1日(木) ～12月16日(金)	令和5年1月4日(水) ～1月20日(金)	令和4年12月1日(木) ～令和5年1月19日(木)
出願書類 受付期間	令和4年12月12日(月) ～12月16日(金)	令和5年1月16日(月) ～1月20日(金)	令和4年12月21日(水) ～令和5年1月19日(木)
検査日	令和5年1月7日(土) [追加の選抜: 1月21日(土)]	令和5年2月12日(日) [追試験: 2月26日(日)]	
合格内定者発表	令和5年1月13日(金) [追加の選抜: 1月26日(木)]		
合格者発表	令和5年2月21日(火) [追試験合格者発表: 3月1日(水)]		
入学意思確認書 提出期限	令和5年1月23日(月) [追加の選抜: 2月6日(月)]	令和5年2月27日(月) [追試験: 3月3日(金)]	
合格者出校日	令和5年3月7日(火)		
検査会場	都城高専		

## 独立行政法人 国立高等専門学校機構 都城工業高等専門学校

〒885-8567 宮崎県都城市吉尾町473番地の1  
TEL (0986)47-1133・1134(学生課)  
FAX (0986)47-1143(学生課)  
メールアドレス g-hosa@jim.miyakonoyo-nct.ac.jp(学生課)  
ホームページアドレス <https://www.miyakonoyo-nct.ac.jp/>

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が発令される等の状況が発生した場合、学生募集要項を見直し、変更する場合があります。変更する場合は、できる限り早期に決定し、本校ホームページ等で周知します。

# 目 次

## 〈学生募集要項〉

I. 募集人員	1
II. 入学者受け入れ方針（アドミッションポリシー）	1
II - A <b>推薦による入学者の選抜</b>	
1. 出願資格	3
2. 出願手続	3
3. 選抜の方法	5
4. 合格内定者の発表	7
5. 入学意思確認書の提出	7
6. 選抜の結果、合格内定とならなかった者の学力検査の受験	7
7. 受験上の注意	7
8. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して	8
II - B <b>学力検査による入学者の選抜</b>	
1. 出願資格	9
2. 出願手続	9
3. 選抜の方法	11
4. 受験上の注意	12
5. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して	13
6. 学力検査におけるマークシート方式の導入について	13
7. 「学力検査による選抜」における最寄り地等受験制度について	13
II - C <b>帰国生徒特別学力選抜</b>	
1. 出願資格	14
2. 出願手続	14
3. 選抜の方法	16
4. 受験上の注意	16
5. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して	16
6. 帰国生徒特別学力選抜での学力検査におけるマークシート方式の導入について	16
III. <b>共通事項</b>	
1. 合格者の発表	17
2. 合格者出校日	17
3. 追加合格	17
4. 学力検査による入学者の選抜を受験した者の入試成績の開示	17
5. 検定料についての注記	18
6. 災害救助法適用地域における災害に伴う検定料免除の臨時措置について	18
7. 募集要項の請求	18
8. 新型コロナウイルス等の感染拡大防止のための受験生へのお願いとお知らせ	18
9. WEB出願について	20
〈入学案内〉	
1. 創立	21
2. 目的	21
3. 都城工業高等専門学校 本科の三つの方針	21
4. 修業年限・学科等	23
5. 卒業生の称号	23
6. 教育課程	24
7. 入学時に要する諸経費	24
8. 入学料免除制度、就学支援金制度、授業料免除（減免）制度	24
9. 奨学金制度	24
10. 学生寮	25
11. 課外活動	25
12. 卒業後の進路	25
13. 検査会場案内図	27
〈添付用紙等〉	
◎ 調査書	
◎ 推薦書（推薦選抜志願者用）	
◎ 帰国生徒特別学力選抜海外在住状況説明書	
◎ 追試験受験申請書（様式1、様式2）	
◎ あて名票（中学校用、本人用）※全員提出してください。	

# 令和5年度 学生募集要項

## I. 募集人員

学 科	募集人員	備 考
機 械 工 学 科	40人	① 各学科とも募集人員の50%は、推薦による選抜とします。なお、推薦選抜において追加の選抜を実施する場合、50%を超えることがあります。 ② 帰国生徒特別学力選抜の募集人員は、各学科とも若干名とします。
電 気 情 報 工 学 科	40人	
物 質 工 学 科	40人	
建 築 学 科	40人	
計	160人	

## II. 入学者受け入れ方針(アドミッションポリシー)

### II-1 求める学生像

本校は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に示す能力を持った学生を育成するために、教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を実施する。この教育を受けるに相応しい人材を以下に示す。

- (1) 様々な分野に関心をもち総合的な基礎学力がある人
- (2) 科学と工学を基礎とした「ものづくり」に興味がある人
- (3) 技術者として社会に役立ちたいと考えている人
- (4) 責任をもって継続的にものごとを実行できる人

### II-2 入学者選抜の基本方針

II-1に示す人材を確保するために、推薦選抜試験及び学力選抜試験を行う（本科入学）。

### II-3 入学者の選抜方法

本科の入学者の選抜は、推薦選抜、学力検査による選抜、及び帰国生徒特別学力選抜の三つの方法で行う。

#### (1) 推薦による入学者の選抜(II-A)

様々な分野に関心をもち総合的な基礎学力を備え、責任をもって継続的にものごとを実行できるかどうかは、中学校での調査書をもとに評価する。また、科学と工学を基礎とした「ものづくり」に興味を持ち技術者として社会に役立ちたいと考えているかどうかは、作文と面接により評価する。これらの評価を総合して合否判定を行う。なお、推薦入学志望学科は第1志望学科とし、各学科の定員の50%を募集人員（20人）とする。また、推薦基準は、中学校における9教科3年間5段階評価の内申点合計111以上とする。

## **(2) 学力検査による入学者の選抜(Ⅱ－B)**

様々な分野に関心をもち総合的な基礎学力を備え、責任をもって継続的にものごとを実行できるかどうかは、中学校での調査書をもとに評価する。また、総合的な基礎学力は学力検査でも評価する。科学と工学を基礎とした「ものづくり」に興味を持ち技術者として社会に役立ちたいと考えているかどうかは、面接により評価する。具体的には、4教科（理科、英語、数学、国語）の学力検査（各科目 100 点満点）の点数並びに面接の結果及び中学校における調査書を得点化したものにより総合的に合否判定を行う。なお、志望学科は、第4志望まで選択でき、各学科の第2～4志望での入学は、原則として各学科の定員の50%以内とする。なお、推薦選抜において合格者が20人に満たない場合は、その欠員分は学力検査による選抜の募集人員に加える。

## **(3) 帰国生徒特別学力選抜(Ⅱ－C)**

様々な分野に関心をもち総合的な基礎学力を備え、責任をもって継続的にものごとを実行できるかどうかは、中学校での調査書をもとに評価する。また、総合的な基礎学力は学力検査でも評価する。科学と工学を基礎とした「ものづくり」に興味を持ち技術者として社会に役立ちたいと考えているかどうかは、面接により評価する。具体的には、3教科（理科、英語、数学）の学力検査（各科目 100 点満点）の点数並びに面接の結果及び中学校における調査書を得点化したものにより総合的に合否判定を行う。なお、帰国生徒特別学力選抜による募集人員は各学科とも若干名とする。

## Ⅱ－A 推薦による入学者の選抜

## 1. 出 願 資 格

以下の(1)から(4)のいずれかに該当する者で、(5)及び(6)の要件を満たし、在籍  
学校長が責任をもって推薦できる者とします。

- (1)令和5年3月に中学校を卒業見込みの者
- (2)令和5年3月に義務教育学校を卒業見込みの者
- (3)令和5年3月に中等教育学校の前期課程を修了見込みの者
- (4)令和5年3月に文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定  
した在外教育施設※の当該課程を修了見込みの者
- (5)合格した場合は必ず入学する者
- (6)出身中学校における3年間の9教科学業成績5段階評定の総計が111以上の者

※在外教育施設とは、海外に在留する日本人の子どものために、学校教育法（昭和22年法律  
第26号）に規定する学校における教育に準じた教育を実施することを主たる目的として海  
外に設置された教育施設です。入学を志願する者は、出願資格等を確認しますので、令和4  
年11月25日(金)までに本校学生課（連絡先は、表紙に記載）に電話、電子メール、郵便等  
により照会してください。

## 2. 出 願 手 続

令和5年度入試からWEB出願となります。WEB出願受付期間に本校ホームページから  
入力願います。詳細については、20ページの「9.WEB出願について」をご覧ください。

## (1) WEB出願受付期間

令和4年12月1日(木)から12月16日(金)まで

## (2) 出願書類受付

## ① 期 間 令和4年12月12日(月)から12月16日(金)まで

受付時間は、午前9時から午後5時まで

郵送の場合も、12月16日(金)午後5時までに必着とします。

※12月19日(月)に、各学科ごとの願書受付数を本校のホームページでお知らせ  
します。

② 場 所 都城工業高等専門学校 学生課  
〒885-8567 宮崎県都城市吉尾町473番地の1

## ③ 志願者によるWEB出願

志願者は、WEB出願サイトへの入力及び検定料（16,500円）の納入を行い、  
WEB出願サイトから印刷した「写真票」を在籍学校へ提出してください。WEB  
出願サイトへ顔写真データをアップロードしていない場合は、(3)①に基づき、  
写真を貼り付けしたうえで、在籍学校へ提出してください。

④ 在籍学校長による出願書類の提出

在籍学校長は、(3) 出願書類に基づき、出願書類受付期間に一括して提出してください。手続きが全て完了すると、申込完了メールが届きますので、そのメール受信をもって出願手続きが完了となります。出願手続きを完了していないと受験できませんので注意してください。なお、令和4年12月27日(火)を過ぎても申込完了メールが届かない場合は、学生課まで問い合わせてください。

(3) 出願書類

在籍学校長は、推薦する生徒について①～④の書類等を提出してください。**郵送する場合は必ず書留郵便**とし、封筒の表に「**推薦入学出願書類在中**」と**朱書**してください。

出願書類	摘 要
① 写 真 票	WEB 出願手続き完了後に発行される「受験票・写真票」を印刷し、「写真票」のみ切り取ったもの。顔写真をアップロードしていない場合は、出願前3ヶ月以内に撮影した正面脱帽、上半身の写真(縦4cm×横3cm。カラー可。)を所定の位置に貼ってください。
② 推 薦 書	本校所定の用紙又は電子書式に学校長が作成してください。(電子書式は本校ホームページの入学案内に掲載しています。)
③ 調 査 書	本校所定の用紙又は電子書式に学校長が作成してください。(電子書式は本校ホームページの入学案内に掲載しています。)
④ あ て 名 票	志願者本人及び出身中学校等の住所・郵便番号等を記入してください。 ※3票とも記入願います。

※帰国生徒特別学力選抜の志願者が推薦選抜も受ける場合は、帰国生徒特別学力選抜の出願書類一式に上記②の推薦書を添えて提出してください。

学 習 成 績 一 覧 表	学校長は、令和5年度公立高等学校入学者選抜実施要項によって作成したものを1部提出してください。(A4判またはB4判) (本校志願者に <b>朱書</b> で○印をつけてください。) 願書提出時に提出困難な場合は、 <b>1月31日(火)までに必着</b> するよう提出してください。
---------------	---

※留意事項

- (1) **推薦入学志望学科は第1志望学科とします。**ただし、合格内定とならなかった場合に「学力検査による入学者の選抜」の受験のために、第2志望～第4志望まで入力することを認めます。
- (2) 書類の氏名は、住民票のとおり記入してください。
- (3) WEB出願後は、志望学科等の変更は認めません。ただし、現住所、電話番号に変更があった場合は、速やかに届け出てください。
- (4) 提出書類の不備なものは受け付けできません。また、提出書類に虚偽の記入があった場合は、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。

### 3. 選 抜 の 方 法

#### (1) 作文及び面接

##### ① 日時及び会場

(ア) 日 時 (本選抜) 令和5年1月 7日 (土) 午前8時40分

(追加の選抜※) 令和5年1月21日 (土) 午前8時40分

(イ) 会 場 都城工業高等専門学校

② 作文の課題は当日指定し、400字以内、時間は40分とします。

③ 面接は個人面接とし、志望動機と目標、勉学意欲、志望学科との適性及び受け入れ方針との適合性等について評価します。

#### (2) 調査書

調査書は、能力、適性を評価するための基礎資料として活用します。

#### (3) 合否判定は、1ページのⅡ－3（1）を参照してください。

#### ※追加の選抜の実施

インフルエンザや新型コロナウイルス等の感染症を理由として令和5年1月7日(土)に実施する推薦による本選抜を受験できなかった者を対象として、別途追加の選抜を実施します。

(追加の選抜の受験要件等)

(1) 次に掲げる者を対象に追加の選抜を実施する。

ア 学校保健安全法施行規則(昭和33年文部省令第18号。)第十八条に定める感染症に罹患、又は罹患している疑いがあり、本選抜を受験できない者

イ その他、受験者自身の責めに帰することができない理由で本試験を受験できず、追加の選抜の受験を申請した者で、校長がその申請を認めた者

(2) アに示す本試験を受験できない事由は、中学校等の長又は医療機関による証明等により、校長が確認するものとする。

(3) アに示す本試験を受験できない事由を認める期間については、学校保健安全法施行規則に定める出席停止の期間の基準を原則とする。

#### <参考>学校保健安全法施行規則

(感染症の種類)

第十八条 学校において予防すべき感染症の種類は、次のとおりとする。

- 一 第一種 エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。）、中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。）及び特定鳥インフルエンザ（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成十年法律第百十四号）第六条第三項第六号に規定する特定鳥インフルエンザをいう。次号及び第十九条第二号イにおいて同じ。）
- 二 第二種 インフルエンザ（特定鳥インフルエンザを除く。）、百日咳、麻疹、流行性耳下腺炎、風しん、水痘、咽頭結膜熱、結核及び髄膜炎菌性髄膜炎
- 三 第三種 コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎その他の感染症

※追加の選抜の対象者にかかる受験手続き

1) 受験前に感染症が疑われる症状等がある場合

必ず保健所等に相談のうえ、医療機関等を受診してください。その結果、感染症に感染していないと診断を受けた者は、試験当日までに治癒していなくても別室での受験を許可します。

なお、以下に当てはまる場合は、追加の選抜を受験してください。

①新型コロナウイルス等感染症に感染していると診断を受け、検査日までに医師が治癒したと診断していない者

医療機関等から証明書を発行してもらい、令和5年1月13日(金)までに学生課に提出してください。ただし、公欠手続きのため中学校等に提出した証明書があれば、その写しで構いません。

②検査日直前に保健所等から新型コロナウイルス感染症における濃厚接触者に該当すると判定された者

中学校等から証明書(様式1)を発行してもらい、令和5年1月13日(金)までに学生課に提出してください。

○無症状の濃厚接触者のうち、初期スクリーニング(PCR検査及び抗原定量検査)の結果が陰性であり、受験当日も無症状で、公共交通機関を利用せず試験場に行った者は、別室での受験を可とします。

2) 受験直前に感染症が疑われる症状等がある場合(当日朝や前日夜など医療機関等の受診が間に合わない場合)

①試験会場に来ない(来られない)場合

試験開始前までに、学生課(TEL.0986-47-1133)に欠席の連絡をしてください。また、必ず当日もしくは後日、保健所等に相談のうえ医療機関等を受診してください。その受診記録(領収書・薬袋など)もしくは様式2の医療機関等による感染症の証明書を令和5年1月13日(金)までに学生課に提出することで、追加の選抜の受験を許可します。

②試験会場に来た場合

追加の選抜について、「健康状態チェックリスト」での確認及び受験の意思を確認します。

・追加の選抜の受験となった場合

受験者は帰宅し、必ず当日もしくは後日、保健所等に相談のうえ医療機関等を受診してください。看護師等が症状を確認していますので、新型コロナウイルス感染症の疑いがあるとして、追加の選抜の受験が認められます。

・本試験の継続受験を希望した場合

「健康状態チェックリスト」の項目に該当しない場合、別室で受験することができます。

#### 4. 合格内定者の発表

##### (1) 日 時

(本 選 抜) 令和5年1月13日(金) 午前10時

(追加の選抜) 令和5年1月26日(木) 午前10時

##### (2) 方法等

**合格内定者の受験番号を本校学生課前の掲示板に掲示するとともに、本校のホームページに掲載します。**

併せて、出身中学校長宛に合格内定通知書等を発送します。

なお、電話等による合否に関する問い合わせには一切応じません。

#### 5. 入学意思確認書の提出

合格内定の通知を受けた者は、**令和5年1月23日(月) 午後5時**（「追加の選抜」の場合は**2月6日(月) 午後5時**）までに入学意思確認書を提出してください。入学意思確認書を提出しない者は、本校に入学の意思がないものとして取り扱います。

#### 6. 選抜の結果、合格内定とならなかった者の学力検査の受験

「推薦による入学者選抜」の結果、合格内定とならなかった者は、推薦入学のWEB出願エントリーの際、あらかじめ学力検査受験希望の「希望する」を選択することにより、学力検査による入学志願者として取り扱います。この場合は、あらためて出願手続き(検定料の納付を含む)の必要はありません。学力検査当日は、推薦選抜受験時の受験票で受験してください。

ただし、当該受験を辞退しようとする者は、出身中学校長を通じて受験辞退届(A4判書式任意)を提出してください。

※志望学科を変更せずに受験する場合は、WEB出願の再入力及び検定料の再納入の必要はありませんが、志望学科を変更して受験する場合は、改めて、学力検査のWEB出願の再入力及び検定料の再納入が必要となります。(再入力・再納入期間:令和5年1月13日(金)から1月31日(火)まで)

#### 7. 受験上の注意

- (1) 検査当日は、午前8時20分までに本校に集合してください。
- (2) 受験者は、受験票、筆記道具(鉛筆等)を持参してください。
- (3) 面接の順番によっては午後になることがありますので、弁当と飲み物を持参してください。
- (4) 受験のため宿泊が必要な者は各自で確保してください。
- (5) 検査会場内では、上履きは必要ありません。

## 8. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

都城工業高等専門学校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び、「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障がい等による支援ニーズのある学生に対して、受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障がい等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに学生課までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、入学願書提出期限の一か月前にあたる令和4年11月16日(水)17時を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、生徒、生徒の保護者及び、在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告(第二次まとめ)」によって示されている、1) 障害者手帳の種別・等級・区分認定、2) 適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3) 標準化された心理検査等の結果、4) 専門家の所見、5) 中学校、特別支援学校中等部等入学前の支援状況に関する資料、6) 本人が自らの障がいの状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※根拠資料に関しては提出の要不要に関しても担当窓口までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、担当係において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

(お願い)

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。入試後、または入学後に合理的配慮に関して初めて申請なさると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

相談窓口 学生課課長補佐 (電話番号) 0986-47-1133

(FAX) 0986-47-1143 (MAIL) g-hosa@jim.miyakonojo-nct.ac.jp

## Ⅱ－B 学力検査による入学者の選抜

### 1. 出 願 資 格

次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 中学校を卒業した者又は令和5年3月に中学校を卒業見込みの者
- (2) 義務教育学校を卒業した者又は令和5年3月に義務教育学校を卒業見込みの者
- (3) 中等教育学校の前期課程を修了した者又は令和5年3月に中等教育学校の前期課程を修了見込みの者
- (4) 中学校卒業と同等以上の学力があると認められた者
  - ① 外国において学校教育における9年間の課程を修了した者又は令和5年3月に修了見込みの者
  - ② 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設※の当該課程を修了した者又は令和5年3月に修了見込みの者
  - ③ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年6月18日文部省告示第58号）
  - ④ 就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定規則（昭和41年文部省令第36号）により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者
  - ⑤ その他相当年齢に達し、本校が中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※ 在外教育施設とは、海外に在留する日本人の子どものために、学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する学校における教育に準じた教育を実施することを主たる目的として海外に設置された教育施設です。入学を志願する者は、出願資格等を確認しますので、令和4年12月2日（金）までに本校学生課（連絡先は、表紙に記載）に電話、電子メール、郵便等により照会してください。

### 2. 出 願 手 続

令和5年度入試からWEB出願となります。WEB出願受付期間に本校ホームページから入力願います。詳細については、20ページの「9.WEB出願について」をご覧ください。

#### (1) WEB出願受付期間

令和5年1月4日（水）から1月20日（金）まで

#### (2) 出願書類受付

- ① 期 間 令和5年1月16日（月）から1月20日（金）まで

受付時間は、午前9時から午後5時まで

郵送の場合も、1月20日（金）午後5時までに必着とします。

※1月18日（水）から、各学科ごとに願書受付数（帰国生徒は内数）を本校のホームページでお知らせします。

- ② 場 所 都城工業高等専門学校 学生課  
〒885-8567 宮崎県都城市吉尾町473番地の1

③ 志願者によるWEB出願

志願者は、WEB 出願サイトへの入力及び検定料（16,500 円）の納入を行い、WEB 出願サイトから印刷した「写真票」を在籍（出身）学校へ提出してください。WEB 出願サイトへ顔写真データをアップロードしていない場合は、(3) ①に基づき、写真を貼り付けしたうえで、在籍（出身）学校へ提出してください。

④ 在籍(出身)学校長による出願書類の提出

在籍（出身）学校長は、(3) 出願書類に基づき、出願書類受付期間に一括して提出してください。手続きが全て完了すると、申込完了メールが届きますので、そのメール受信をもって出願手続きが完了となります。出願手続きを完了していないと受験できませんので注意してください。なお、令和5年1月25日（水）を過ぎても申込完了メールが届かない場合は、学生課まで問い合わせてください。

(3) 出願書類

出願は、次の書類を①～③の順にそろえ、**在籍（出身）学校長が一括して提出してください。**ただし、「1.出願資格」(4)の①③④⑤に該当する者は、各自提出してください。**郵送する場合は必ず書留郵便**とし、封筒の表に「**学力入学出願書類在中**」と**朱書**してください。

出願書類	摘 要
① 写 真 票	WEB 出願手続き完了後に発行される「受験票・写真票」を印刷し、「写真票」のみ切り取ったもの。顔写真をアップロードしていない場合は、出願前3ヶ月以内に撮影した正面脱帽、上半身の写真（縦4cm×横3cm。カラー可。）を所定の位置に貼ってください。
② 調 査 書	本校所定の用紙又は電子書式に在籍(出身)学校長が作成してください。（電子書式は本校ホームページの入学案内に掲載しています。）ただし、出願資格(4)の①③④⑤に該当する者は、履修証明書及び成績証明書を提出してください。
③ あ て 名 票	志願者本人及び出身中学校等の住所・郵便番号等を記入してください。 ※3票とも記入願います。
学 習 成 績 一 覧 表	学校長は、令和5年度公立高等学校入学者選抜実施要項によって作成したものを1部提出してください。(A4判またはB4判) 令和4年3月以前卒業者は、当該年度に作成したものとします。 <b>(本校志願者に朱書で○印をつけてください。)</b> 願書提出時に提出困難な場合は、 <b>1月31日(火)までに必着</b> するよう提出してください。

※留意事項

- (1) 書類の氏名は、住民票のとおり記入してください。
- (2) 学力選抜入試については、第2志望～第4志望までの入力を認めます。
- (3) WEB 出願後は、志望学科等の変更は認めません。ただし、現住所、電話番号に変更があった場合は、速やかに届け出てください。
- (4) 提出書類の不備なものは受け付けできません。また、提出書類に虚偽の記入があった場合は、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。

### 3. 選 抜 の 方 法

#### (1) 学 力 検 査 及 び 面 接

- ① 学力検査は、筆記試験(マークシート方式)とします。
- ② 検査教科は、**理科、英語、数学、国語の4教科**とし、4教科とも各100点満点とします。
- ③ 面接は、15分程度の集団面接とし、入学者受け入れ方針との適合性等について評価します。
- ④ 検査日時

期 日	教科名等	時 間
本試験 2月12日(日)	理 科	9:30～10:20
	英 語	10:50～11:40
	数 学	12:10～13:00
	国 語	13:50～14:40
追試験※ 2月26日(日)	面 接	15:10～

- ⑤ 検査会場 都城工業高等専門学校

#### (2) 調 査 書

調査書は、能力、適性を評価するための基礎資料として活用します。

#### (3) 合 否 判 定 は、2 ペ ー ジ の Ⅱ - 3 ( 2 ) を 参 照 し て く だ さ い。

※ インフルエンザウイルスや新型コロナウイルス等による感染症に罹患し、又はその疑いがあり、学力検査(本試験)を受験することができなかった受験者は、2月26日(日)に実施する「追試験」を受験することができます。

(追試験の受験要件等)

- (1) 次に掲げる者を対象に追試験を実施する。
  - ア 学校保健安全法施行規則(昭和33年文部省令第18号)第十八条に定める感染症に罹患、又は罹患している疑いがあり、本選抜を受験できない者
  - イ その他、受験者自身の責めに帰することができない理由で本試験を受験できず、追試験の受験を申請した者で、校長がその申請を認めた者
- (2) アに示す本試験を受験できない事由は、中学校等の長又は医療機関による証明等により、校長が確認するものとする。
- (3) アに示す本試験を受験できない事由を認める期間については、学校保健安全法施行規則に定める出席停止の期間の基準を原則とする。

<参考>学校保健安全法施行規則

(感染症の種類)

第十八条 学校において予防すべき感染症の種類は、次のとおりとする。

- 一 第一種 エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。)、中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)、及び特定鳥インフルエンザ(感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成十年法律第百十四号)第六条第三項第六号に規定する特定鳥インフルエンザをいう。次号及び第十九条第二号イにおいて同じ。)
- 二 第二種 インフルエンザ(特定鳥インフルエンザを除く。)、百日咳、麻しん、流行性耳下腺炎、風しん、水痘、咽頭結膜熱、結核及び髄膜炎菌性髄膜炎
- 三 第三種 コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎その他の感染症

## ※追試験の対象者にかかる受験手続き

## 1) 受験前に感染症が疑われる症状等がある場合

必ず保健所等に相談のうえ、医療機関等を受診してください。その結果、感染症に感染していないと診断を受けた者は、試験当日までに治癒していなくても別室での受験を許可します。

なお、以下に当てはまる場合は、追試験を受験してください。

## ①新型コロナウイルス等感染症に感染していると診断を受け、検査日までに医師が治癒したと診断していない者

医療機関等から証明書を発行してもらい、令和5年2月17日(金)までに学生課に提出してください。ただし、公欠手続きのため中学校等に提出した証明書があれば、その写しで構いません。

## ②検査日直前に保健所等から新型コロナウイルス感染症における濃厚接触者に該当すると判定された者

中学校等から証明書(様式1)を発行してもらい、令和5年2月17日(金)までに学生課に提出してください。

○ 無症状の濃厚接触者のうち、初期スクリーニング(PCR検査及び抗原定量検査)の結果が陰性であり、受験当日も無症状で、公共交通機関を利用せず試験場に行った者は、別室での受験を可とします。

## 2) 受験直前に感染症が疑われる症状等がある場合(当日朝や前日夜など医療機関等の受診が間に合わない場合)

## ①試験会場に来ない(来られない)場合

試験開始前までに、学生課(TEL.0986-47-1133)に欠席の連絡をしてください。また、必ず当日もしくは後日、保健所等に相談のうえ医療機関等を受診してください。その受診記録(領収書・薬袋など)もしくは様式2の医療機関等による感染症の証明書を令和5年2月17日(金)までに学生課に提出することで、追試験の受験を許可します。

## ②試験会場に来た場合

追試験について、「健康状態チェックリスト」での確認及び受験の意思を確認します。

## ・追試験の受験となった場合

受験者は帰宅し、必ず当日もしくは後日、保健所等に相談のうえ医療機関等を受診してください。看護師等が症状を確認していますので、新型コロナウイルス感染症の疑いがあるとして、追試験の受験が認められます。

## ・本試験の継続受験を希望した場合

「健康状態チェックリスト」の項目に該当しない場合、別室で受験することができます。

**4. 受験上の注意**

- (1) 検査当日は、午前8時40分までに検査会場の指定された場所に集合してください。
- (2) 受験者は、受験票、筆記道具(HBの鉛筆等)及び弁当と飲み物を持参してください。下敷、コンパス、定規、分度器、電卓、携帯電話、ウェアラブル時計の使用は禁止します。
- (3) 受験のため宿泊が必要な者は各自で確保してください。
- (4) 受験上の注意は、受験票の「受験者心得」に記載してありますが、その他のことは、検査当日指示することがありますので、注意してください。
- (5) 検査会場内では、上履きは必要ありません。

## 5. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

「推薦による入学者の選抜」の場合と同様とします。

## 6. 学力検査におけるマークシート方式の導入について

平成 28 年度入学者選抜学力検査から全ての教科で、マークシート方式による解答方法を導入しました。

解答は、**HBの黒鉛筆**を使用してください。(消しゴムは普段から使用しているもので問題ありません。) HB 以外の黒鉛筆やシャープペンシル等で解答した場合、正しく読み取れないことがあります。シャープペンシルはメモ書きや計算のために使用し、解答をマークする際には使用しないでください。

## 7. 「学力検査による選抜」における最寄り地等受験制度について

国立高等専門学校機構では、「学力検査による選抜」において、出願する高専に関係なく、全国にある 51 の国立高等専門学校とその他設置している会場のどこでも受験が可能な『最寄り地等受験制度』を導入しています。受験生は本校が設置する会場以外に、機構ホームページの『最寄り地等受験制度 会場一覧』から、受験したい会場を希望することができます。

ただし、会場の収容人数等の都合で必ずしも希望に添えないこともありますので、希望する受験生は、本校まで、必ず事前の相談をお願いします(下記に記載している本校の「主たる受験地」は、事前相談は不要です)。

### 【事前相談問い合わせ先】

窓 口：都城工業高等専門学校学生課

電 話：0986 - 47 - 1133

相談期間：令和 4 年 11 月 1 日 (火) ～ 1 月 19 日 (木)

最寄り地等受験制度 会場一覧掲載先 (機構ホームページ)

各会場の受け入れ状況を随時更新します。

<https://www.kosen-k.go.jp/exam/admissions/index.html>

本校の「主たる受験地」：都城工業高等専門学校



(機構ホームページ)

※「推薦による選抜」、「帰国生徒特別学力選抜」は、本制度の対象外です。

※事前相談期間締切後については、やむを得ない場合を除き原則受け付けません。

最寄り地等受験制度の利用を希望する場合は、WEB 出願画面で受験地選択時に「最寄り地等」を選択し、機構ホームページの「会場一覧」を参照して入学願書や受験票・写真票に、事前相談の結果受け入れ可となった会場の「会場番号、会場略称」を記載してください。

## Ⅱ－C 帰国生徒特別学力選抜

### 1. 出願資格

日本国籍を有する者または日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務に伴って外国において教育を受けた者（海外在住期間が中学校に相当する課程において通算して2年以上の者で、令和3年4月以降に帰国した者）で、次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 中学校を卒業した者又は令和5年3月に中学校を卒業見込みの者
- (2) 義務教育学校を卒業した者又は令和5年3月に義務教育学校を卒業見込みの者
- (3) 中等教育学校の前期課程を修了した者又は令和5年3月に中等教育学校の前期課程を修了見込みの者
- (4) 中学校卒業と同等以上の学力があると認められた者
  - ① 外国において学校教育における9年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を卒業（修了）した者又は令和5年3月に卒業（修了）見込みの者
  - ② 文部科学大臣が中学校課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設※の当該施設を卒業（修了）した者又は令和5年3月に卒業（修了）見込みの者

※ 在外教育施設とは、海外に在留する日本人の子どものために、学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する学校における教育に準じた教育を実施することを主たる目的として海外に設置された教育施設です。入学を志願する者は、出願資格等を確認しますので、令和4年11月25日（金）までに本校学生課（連絡先は、表紙に記載）に電話、電子メール、郵便等により照会してください。

### 2. 出願手続

令和5年度入試からWEB出願となります。WEB出願受付期間に本校ホームページから入力願います。詳細については、20ページの「9.WEB出願について」をご覧ください。

#### (1) WEB出願受付期間

令和4年12月1日（木）から令和5年1月19日（木）まで

#### (2) 出願書類受付

- ① 期 間 令和4年12月21日（水）から1月19日（木）まで（土曜、日曜、祝日を除く）  
受付時間は、午前9時から午後5時まで  
郵送の場合も、1月19日（木）午後5時までに必着とします。
- ② 場 所 都城工業高等専門学校 学生課  
〒885-8567 宮崎県都城市吉尾町473 番地の1

※ 12月22日（木）から、各学科ごとに願書受付数（帰国生徒は内数）を本校のホームページでお知らせします。

#### (3) 志願者によるWEB出願

志願者は、WEB出願サイトへの入力及び検定料（16,500円）の納入を行い、WEB出願サイトから印刷した「写真票」を在籍（出身）学校へ提出してください。WEB出願サイトへ顔写真データをアップロードしていない場合は、(3)①に基づき、写真を貼り付けしたうえで、在籍（出身）学校へ提出してください。

④ 在籍（出身）学校長による出願書類の提出

在籍（出身）学校長は、(3) 出願書類に基づき、出願書類受付期間に一括して提出してください。手続きが全て完了すると、申込完了メールが届きますので、そのメール受信をもって出願手続きが完了となります。出願手続きを完了していないと受験できませんので注意してください。なお、令和5年1月24日（火）を過ぎても申込完了メールが届かない場合は、学生課まで問い合わせてください。

(3) 出願書類

出願は、次の書類を①～⑤の順にそろえ、在籍（出身）学校長が一括して提出してください。ただし、「1. 出願資格」(4)の①に該当する者は、各自提出してください。

郵送する場合は必ず書留郵便とし、封筒の表に「帰国生徒出願書類在中」と朱書してください。

出願書類	摘 要
① 写 真 票	WEB 出願手続き完了後に発行される「受験票・写真票」を印刷し、「写真票」のみ切り取ったもの。顔写真をアップロードしていない場合は、出願前3ヶ月以内に撮影した正面脱帽、上半身の写真（縦4cm×横3cm。カラー可。）を所定の位置に貼ってください。
② 調 査 書 (成績証明書、卒業証明書等)	日本人学校及び国内の中学校等の成績等は、本校所定の用紙により、在籍（出身）学校長が作成してください。 前記「1. 出願資格」の(4)①に該当する者（海外の現地校及び国際学校を卒業した者及び卒業見込の者）は、当該学校が発行した成績証明書及び卒業（修了）証明書又は同見込証明書を提出してください。 なお、成績証明書で提出する場合の各教科の評定は、100点法に換算したものを記載してください。不可能な場合は、100点法との対応表を添付してください。
③海外在住状況説明書	本校所定の用紙又は電子書式に必要事項を記入してください。（電子書式は本校ホームページの入学案内に掲載しています。）
④ 住 民 票	外国籍を有する者のみ提出してください。 (永住者の在留資格がわかるもの)
⑤ あ て 名 票	志願者本人及び出身中学校等の住所・郵便番号等を記入してください。 ※3票とも記入願います。

※留意事項

- (1) 書類の氏名は、住民票のとおり記入してください。
- (2) 帰国生徒特別学力選抜入試については、第2志望～第4志望までの入力を認めます。
- (3) WEB 出願後は、志望学科等の変更は認めません。ただし、現住所、電話番号に変更があった場合は、速やかに届け出てください。
- (4) 提出書類の不備なものは受け付けできません。また、提出書類に虚偽の記入があった場合は、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。
- (5) 外国の学校又は機関が作成した書類については、必ず日本語訳を添付してください。

- (6) 帰国生徒特別学力選抜に出願を希望する場合でも、「推薦による入学者の選抜」に出願することができます。（「推薦による入学者の選抜」の出願資格を満たしている必要があります。）「推薦による入学者の選抜」の結果、合格内定とならなかった者は、帰国生徒特別学力選抜による入学志願者として取り扱います。詳しくは、「推薦による入学者の選抜」の「選抜の結果、合格内定とならなかった者の学力検査の受験」を参照してください。

### 3. 選抜の方法

#### (1) 学力検査及び面接

- ① 学力検査は、筆記試験（マークシート方式）とします。
- ② 検査教科は、**理科、英語、数学の3教科**とし、3教科とも各100点満点とします。
- ③ 面接は、15分程度の集団面接とし、入学者受け入れ方針との適合性等について評価します。
- ④ 検査日時

期 日	教科名等	時 間
本試験 2月12日(日)	理 科	9:30～10:20
追試験※ 2月26日(日)	英 語	10:50～11:40
	数 学	12:10～13:00
	面 接	13:50～

※「学力検査による入学者の選抜」の場合と同様とします。

- ⑤ 検査会場 都城工業高等専門学校

#### (2) 調査書

調査書は、能力、適正を評価するための基礎資料として活用します。

- (3) 合否判定は、2ページのⅡ-3(3)を参照してください。

### 4. 受験上の注意

「学力検査による入学者の選抜」の場合と同様とします。

### 5. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

「推薦による入学者の選抜」の場合と同様とします。

### 6. 帰国生徒特別学力選抜での学力検査におけるマークシート方式の導入について

「学力検査による入学者の選抜」の場合と同様とします。

## Ⅲ. 共通事項

### 1. 合格者の発表

#### (1) 日時

[本試験] 令和5年2月21日(火) 午前10時

[追試験] 令和5年3月1日(水) 午前10時

#### (2) 方法等

合格者の受験番号を本校学生課前の掲示板に掲示するとともに、本校のホームページに掲載します。

合格者宛に合格通知書等を発送します。併せて、出身中学校長宛に合否結果を発送します。

なお、電話等による合否に関する問い合わせには一切応じません。

#### (3) 入学意思確認書の提出(学力選抜、帰国生徒特別学力選抜)

合格の通知を受けた者は、令和5年2月27日(月)午後5時(「追試験」の場合は3月3日(金)午後5時)までに入学意思確認書を提出してください。入学意思確認書を提出しない者は、本校に入学の意思がないものとして取り扱います。

### 2. 合格者出校日

合格者に対する入学手続きを3月7日(火)に行いますので、保護者同伴で出校してください。詳細については、おって通知します。

なお、当日出席しなかった者は、特別の理由がない限り、本校に入学の意思がないものとして取り扱います。

### 3. 追加合格

追加合格を行う場合は、追加合格者に対して3月7日(火)に出身中学校へ電話等で連絡します。その際は確実に連絡の取れるような措置を講じておいてください。

### 4. 学力検査による入学者の選抜を受験した者の入試成績の開示

受験者が希望する場合、下記により入試成績の開示を行います。

なお、推薦選抜及び帰国生徒特別学力選抜は、この制度による開示の対象となりませんので注意してください。

#### (1) 申請者

学力選抜における受験者本人に限ります。

(代理人による申請は認めません。)

#### (2) 開示内容

- ① 学力検査の教科別得点
- ② 第1志望学科における順位

#### (3) 申請期間

令和5年3月7日(火)から4月28日(金)までとします。

(土曜日、日曜日及び祝日を除き、9:00～12:00、13:00～16:00)

#### (4) 申請に必要な書類

- ① 都城工業高等専門学校入試成績開示申請書

(注) 入試成績開示申請書は、本校ホームページからプリントアウトすることができます。

- ② 本校受験票

- ③ 返信用封筒(開示通知書送付用)

長型3号の封筒に、本人の郵便番号・住所(入学願書に記載されている住所に限る)・氏名を明記の上、404円分の切手(簡易書留料金)を貼ってください。

## (5) 申請方法

申請は、前述(4)の書類提出を、本校学生課の窓口で直接行うか又は郵送により行ってください。(4月28日(金)消印有効)

## (6) 開示の方法

本校所定の様式により、申請の際に提出された返信用封筒を使用し、郵送により開示します。(発送は準備が整い次第行いますが、2週間程度日数がかかる場合があります。)

## (7) 問い合わせ先(郵送先)

〒885-8567  
宮崎県都城市吉尾町473番地の1  
都城工業高等専門学校 学生課  
電話 0986-47-1133、1134

## 5. 検定料についての注記

納付された検定料の返還請求ができるのは、次の場合になります。なお、返還の際には振込手数料を差し引いた金額での振込みとなります。

- ・検定料を納付したが出願しなかった場合
- ・検定料を重複で納付した場合

上記の場合は、本校学生課(TEL0986-47-1133、1134)までご連絡ください。

## 6. 災害救助法適用地域における災害に伴う検定料免除の臨時措置について

入学志願者のうち、出願する入学者選抜の種類に応じ、当該種類の令和4年度入学者選抜試験実施日から令和5年度入学者選抜試験実施日の前日までの間に、その主たる家計支持者の居住地が災害による被災に伴い災害救助法の適用を受け、居住する家屋が被害を受けた場合には、被災日以降に出願手続きをする令和5年度入学者選抜において、検定料免除申請書に罹災証明書等(居住家屋の被害程度について、地方自治体の現地調査等に基づき証明する書面)を添えて提出することにより、検定料を免除します。なお、検定料を免除された者が既に検定料を支払っている場合には、還付の申し出により返還します。本免除を希望する場合には、事前に本校学生課(TEL 0986-47-1133、1134)までご連絡ください。

## 7. 募集要項の請求

募集要項は、本校学生課で交付します。郵送を希望する場合は、「募集要項請求」と朱書きした封筒に、あて名を明記し下記金額の切手を貼付した返信用封筒(角型2号)を同封して請求してください。

1部 250円      2部 390円

※3部以上の場合は、レターパックプラス(520円)を同封願います。

## 8. 新型コロナウイルス等の感染拡大防止のための受験生へのお願いとお知らせ

### ①自主検温

試験日の7日程度前から、朝などに体温測定を行うこととし、体調の変化の有無を確認すること。なお、地域により感染が拡大した場合は、試験日の2週間程度前から健康観察を行った上で、より一層行動に注意すること。

### ②医療機関での受診

試験日の2週間程度前から発熱・咳等の症状がある受験生はあらかじめ医療機関での受診を行うこと。

### ③受験できない者

新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の者は受験できないこと。

なお、保健所から新型コロナウイルス感染症患者との濃厚接触者として健康観察や外出自粛を要請されている者のほか、過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域から日本に入国した者は、無症状であれば、以下のi～ivの要件を全て満たしている場合は受験が認められること。要件を一つでも満たさない場合は受験ができないので、追加の選抜・追試験の受験を申請すること。

- i) 初期スクリーニング(自治体によるPCR検査及び検疫所における抗原定量検査)の結果、陰性であること
- ii) 受験当日も無症状であること
- iii) 公共の交通機関(電車、バス、タクシー、航空機(国内線)、旅客船等)を利用せず、かつ、人が密集する場所を避けて試験場に行くこと
- iv) 終日、別室で受験すること

### ④受験の取り止め

各高等専門学校は、入試説明会やホームページなどを通じて、追加の選抜・追試験の実施方法や日時等に関する情報の提供により、追加の選抜・追試験の受験機会の確保をしていることから、試験の前から継続して発熱・咳等の症状のある受験生は、中学校もしくは医療機関と相談の上、追加の選抜・追試験の受験を検討すること。

### ⑤試験当日における対応

試験当日に発熱・咳等の症状があるなど、体調が万全でない場合は、無理して受験せず、各高等専門学校に追加の選抜・追試験の受験を申請すること。

また、試験当日に本校職員が、発熱・咳等の症状のある受験生の新型コロナウイルスの罹患が疑われると判断できる場合は、速やかに帰宅させ、追加の選抜・追試験の受験手続きをしてもらう可能性があること。

休憩時間や昼食時等における他者との接触、会話を極力控えること。

### ⑥試験当日の服装、昼食

試験当日、検査室の換気のため窓の開放等を行う時間帯があるため、上着など暖かい服装を持参すること。また、試験会場で食堂の営業等を行わないため、昼食を持参し、あらかじめ指示された時間内に自席で食事をとること。

### ⑦マスクの着用

症状が無い場合においても、マスクを持参し、検査場内では監督者の指示がある場合又は昼食時以外は、常にマスクを正しく着用すること。なお、フェイスシールド又はマウスシールドの着用のみでは、受験を許可しないこと。感覚過敏等によりマスクの着用が困難な場合は、事前に学生課に申し出ること。

なお、使用済みのマスクについては、試験場で廃棄せず、必ず自宅等に持ち帰ること。

### ⑧予防接種

他の疾患の罹患等のリスクを減らすため、各自の判断において予防接種を受けておくことが望ましい。

### ⑨「新しい生活様式」等の実践

日頃から、手洗い・手指消毒、咳エチケットの徹底、身体的距離の確保、「三つの密」の回避などを行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など、体調管理に心がけること。

### ⑩試験終了後

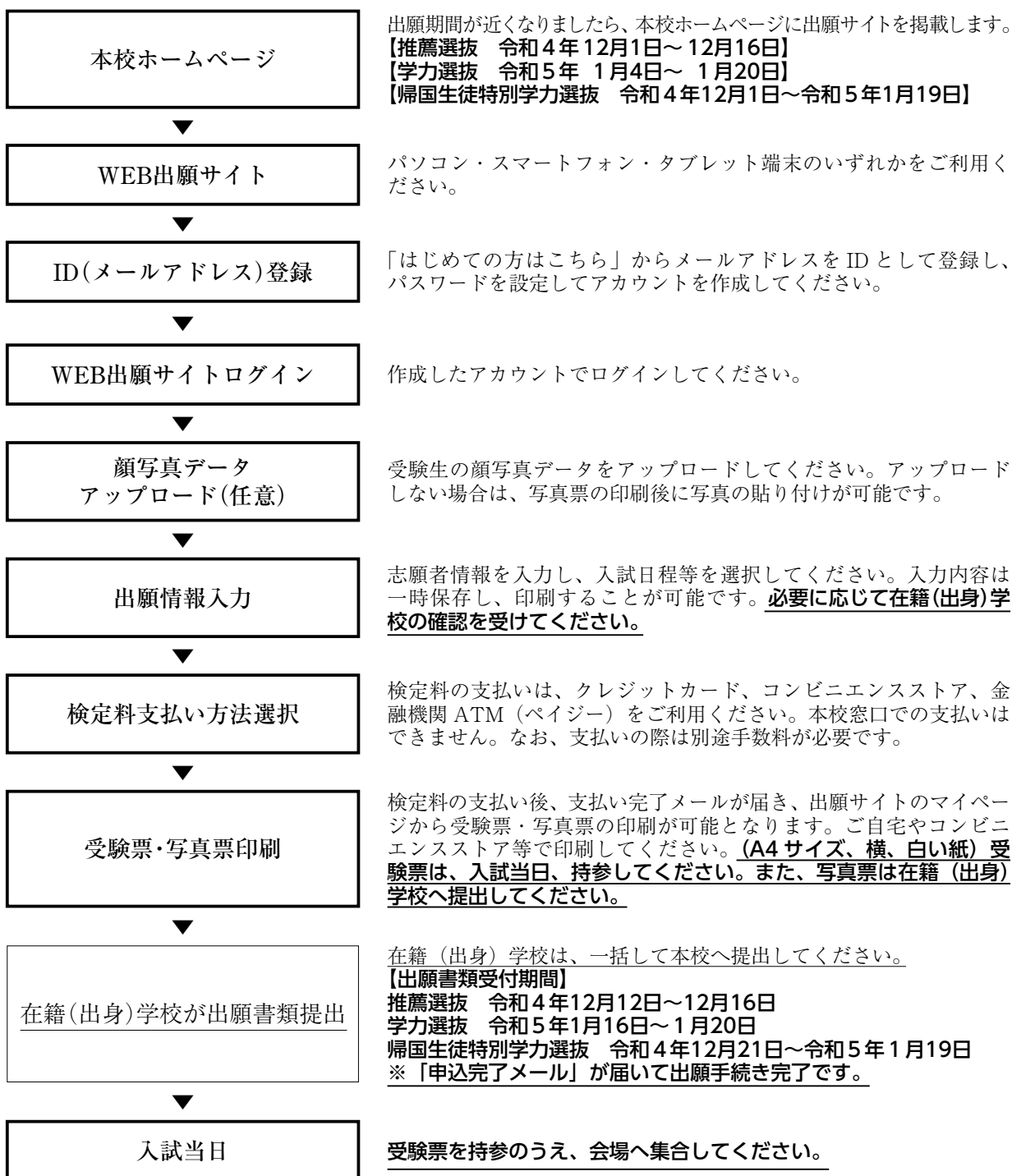
試験終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症に罹患したことが判明した場合は、学生課に電話で申し出ること。

## 9. WEB 出願について

**推薦による選抜、学力検査による選抜・帰国生徒特別学力選抜で WEB 出願を行います。**パソコン、スマートフォン、タブレット端末から、本校ホームページの「PICKUP NEWS」または「受験生の方」>「入学案内」>「本科入学試験（中学生）」の出願サイトにアクセスし、志願者情報の入力・検定料の支払い方法の選択等を WEB 上で行った後、写真票・調査書等の必要書類の到着をもって出願完了となります。志願者による手続きの流れは以下のとおりです。

※「出願サイト」には、入力等のマニュアルも掲載いたします。

### 【志願者による手続きの流れ】



### 【WEB 出願システムに関するお問い合わせ先】

(ミライコンパス) サポートセンター:(出願サイト右下にある「お問合せ先」から電話番号を確認してください)

# 入 学 案 内

## 1. 創 立

昭和 39 年 4 月 1 日

## 2. 目 的

本校は、「優れた人格を備え国際社会に貢献できる創造性豊かな実践的技術者の育成」を教育理念とし、5年間の一貫教育により、豊かな創造性、優れた知性、高度な社会性、確かな実行力をもった技術者を育成することを目的としています。

## 3. 都城工業高等専門学校 本科の三つの方針

### (1) 卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

都城高専（以下では本校）では、「優れた人格を備え国際社会に貢献できる創造性豊かな実践的技術者の育成」を教育理念として掲げる。この理念のもと、各学科共通及び各専門学科の定めた修得すべき能力を身につけ、準学士課程の学習・教育目標とサブ目標（別紙）を達成し、本校の第5学年終了時において167単位（一般科目75単位以上、専門科目82単位以上）の単位修得した学生について卒業を認定し、準学士の学位を授与する。

#### **【共通】**

- (1) 専門分野を理解する上で必要な数学、物理学の基礎的知識を有し、それらの知識を専門分野に応用できる総合的能力
- (2) 広範な知識と豊かな人間性・社会性を持ち、複合分野で活躍できる学際的能力
- (3) 様々な工学的手法を駆使し、周囲とのコミュニケーションを図りながら技術的な課題や問題を解決に導く創造的能力
- (4) 英語能力及び論理的な思考による文章作成能力と効果的なプレゼンテーション能力
- (5) 技術者の社会的責任に基づく倫理的判断能力

#### **【機械工学科】**

- (1) 機械工学の基礎知識、基礎技術を用い、設計から製作までを実践できる総合的能力
- (2) 機械工学に関する様々な物理現象を評価・分析し、ものづくりのプロセスを提案・改善できる学術的能力

#### **【電気情報工学科】**

- (1) 電気情報工学分野である電気、電子、制御、通信、情報の広範な基礎学力を身に付けた適応力のある実践的能力
- (2) 電気情報工学に関する課題、現象、社会問題を把握する洞察力および創造的能力

#### **【物質工学科】**

- (1) 物質工学とそれに関係する基礎的な理論および技術を確実に理解し、応用できる能力
- (2) 物質工学に関する課題、現象、社会問題を主体的に把握し解決する能力および創造的能力
- (3) 自らの考えを論理的に展開でき、発表・議論ができる能力、化学英語に関する文書作成やプレゼンテーションができる能力

#### **【建築学科】**

- (1) 建築学全般において、性能、安全性、環境負荷、経済性などに配慮し、建築物を計画・設計できる能力
- (2) 国内外の建築に関わる歴史や文化について、さまざまな事柄を認識できる学術的能力

### (2) 教育課程編成の方針 (カリキュラム・ポリシー)

本科では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた目標を達成するために、全国高専共通のモデルコアカリキュラム（MCC）をベースに一般科目（人文・社会、外国語、数理・自然科学、情報）と専門科目（機械、電気情報、物質、建築）を体系的に教育課程（カリキュラム）を編成している。

カリキュラムは、講義、演習、実験実習を1年次より5年次まで適切に組み合わせた授業を開講している。カリキュラムの体系は、Web シラバスにより授業内容や科目間の関連をわかりやすく明示している。

ディプロマ・ポリシーにて掲げた能力を養成するために、以下の科目を開講している。

- (1) 一般科目：必修科目（国語、英語、物理、基礎数学、情報基礎など）と選択科目（美術、法学哲学など）を基盤とした基礎科目
  - (2) 専門科目：各専門学科の技術修得に関する専修科目（工学実験、情報処理演習、校外実習など）の実技科目と必修科目（微分方程式、応用物理、情報基礎など）からなる専門科目
  - (3) 卒業研究：最終学年の5年次に高専教育の総合的能力（課題解決能力、論理的な思考力、チームワーク力、プレゼンテーション能力など）を開発するための科目
- さらに専門科目については、各学科において下記の科目群を開講している。

#### 【機械工学科】

- (1) 機械工学の基礎知識・技術を育む科目：いわゆる4力学（機械力学、材料力学、熱力学、流体力学）などを基盤とした基礎専門科目、および実践的な設計製図、工作実習、工学実験などの基礎技術科目
- (2) 創造的能力を育む科目：創造設計などの、創造的能力（課題解決能力、論理的思考力、応用力、プロジェクトマネジメント力、チームワーク力など）を開発するための科目
- (3) 技術者としての倫理観・判断能力を育む科目：技術者倫理概論などの、技術者としての社会的責任を自覚させ、技術的倫理・価値観を涵養する科目

#### 【電気情報工学科】

- (1) 電気情報工学の基礎科目（I群科目）：電気、電子、制御、通信、情報工学を基盤とした基礎専門科目
- (2) 技術習得に関する科目（必修科目）：電気製図、電気情報工学実験、電子電気情報設計などの実践的能力育成のための実技科目
- (3) 学際的能力育成科目（必修科目）：ゼミなどの、適応力のある実践的能力、学際的能力を開発するための科目

#### 【物質工学科】

- (1) 物質工学の基礎科目：分析化学、無機化学、有機化学、物理化学、生物化学などの化学の基礎専門科目
- (2) 実践的技術修得に関する科目：基礎化学実験、無機化学実験、有機化学実験、物理化学実験、生物工学実験、工学演習などの各年次に配置された実技科目。化学工学、生物工学、材料化学などの応用化学や応用生物を中心とした科目
- (3) 豊かな創造力育成科目：講義と並列した実験・演習科目および卒業研究などの課題解決能力、論理的思考力、応用力、チームワーク力といった創造性能力を開発するための科目
- (4) コミュニケーション能力：各年次に配置された実験および演習科目や外国語科目において、日本語および外国語による論理的記述能力、プレゼンテーション能力、討議等におけるコミュニケーション能力を養成するための科目

#### 【建築学科】

- (1) 構造分野：鉄筋コンクリート構造や鋼構造および木質構造など構造設計の根本となる技術や、地震災害の脅威から建物・都市の安全を確保するための技術に関する科目
- (2) 生産・材料分野：建築材料の種類や特徴、建築生産のための技術に関する科目
- (3) 計画分野：設計に必要な計画理論としての生活と空間の係わりに関する技術、都市と生活の係わりに関する技術、計画の意図を適切に表現するための技術に関する科目
- (4) 環境工学・設備分野：建築空間の快適性・利便性とそれを実現するための技術、給排水衛生、空気環境、熱環境のための技術に関する科目
- (5) 建築史分野：古代から現代の建築に至る西洋と日本のデザイン・構造の歴史に関する科目

#### 【別紙】

（準学士課程の学習・教育目標とサブ目標（1-1、2-1など））

#### 1. あらゆる可能性を追求できる豊かな創造性を有する技術者の育成

- 1-1 社会の要求あるいは学問的関心に基づいたアイデアを検証することができる基礎技術を身につけていること
- 1-2 専門技術に関する創造的構想を具現化するための基礎技術を身につけていること

- 1-3 社会の要求あるいは学問的関心に基づいた問題を自ら発見し、その問題を理論的に解決するための基礎知識および基礎技術を身につけていること
- 2. 科学と工学の知識を駆使して技術的問題を解決し、新規生産技術をデザインできる優れた知性を有する技術者の育成**
- 2-1 工学の専門科目の基礎となる数学、自然科学および情報科学の理論を理解し説明できること
- 2-2 技術的諸問題を解決するための基礎工学の知識を理解し説明できること
- 2-3 工学に関する問題点を理解し、適切に対処できること
- 2-4 性能、安全性、環境への影響、経済性または審美性などを配慮できること
- 3. 世界の歴史・文化および倫理を常に考え国際社会に貢献できる高度な社会性を有する技術者の育成**
- 3-1 日本の内外の歴史や文化に関するさまざまな事柄を認識できること
- 3-2 社会のさまざまな価値観や規範を理解し、社会の構成員としての自覚を持っていること
- 3-3 言語等の表現手段によって他者と意思などを疎通させる能力を持っていること
- 4. 自然・社会環境に関連する諸問題に積極的・計画的に取り組み、継続して推進する確かな実行力を有する技術者の育成**
- 4-1 科学技術が自然・社会環境に影響を及ぼす諸問題を理解できること
- 4-2 関連する人々と協力して、自分の研究や実験課題に積極的・計画的に取り組むことができること
- 4-3 健康・安全を保持する基礎能力を身につけ、自然・社会環境に関する諸問題に積極的に取り組むことができること

### (3) 入学者受け入れ方針（アドミッションポリシー）

#### 求める学生像

本校は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に示す能力を持った学生を育成するために、教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を実施する。この教育を受けるに相応しい人材を以下に示す。

- (1) 様々な分野に関心をもち総合的な基礎学力がある人
- (2) 科学と工学を基礎とした「ものづくり」に興味がある人
- (3) 技術者として社会に役立ちたいと考えている人
- (4) 責任をもって継続的にものごとを実行できる人

#### 4. 修業年限・学科等

学 科	修業年限	学級数	入学定員	総 定 員
機 械 工 学 科	5	1	40	200
電 気 情 報 工 学 科	5	1	40	200
物 質 工 学 科	5	1	40	200
建 築 学 科	5	1	40	200
計			160	800

#### 5. 卒業生の称号

卒業生には、準学士の称号が授与されます。

## 6. 教育課程

本校の教育課程は、各学科共通の一般科目と学科別の専門科目で編成されています。

### 一般科目と専門科目の学年別比較

5年	5時間	31～32時間
4年	10時間	25～26時間
3年	16時間	18～19時間
2年	21～23時間	11～13時間
1年	29～31時間	4～6時間

■ 一般科目 ■ 専門科目

【注】時間：週当たりの授業時間数(学科により若干の差異があります。)

## 7. 入学時に要する諸経費(令和5年4月予定)

納入金	入学料 授業料	84,600 円 117,300 円 (前期分) (年額 234,600 円)	※授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。	
その他の経費	・教科書・教材費等	約 100,000 円	・英語実力テスト 数学実力テスト代等	1,265 円 (令和4年度額)
	・学生会入会金	1,000 円	・独立行政法人日本スポーツ 振興センター共済掛金	1,550 円
	・学生会費(年額)	4,400 円	・学生傷害保険	10,000 円
	・後援会入会金	10,000 円	・学生生活補償保険料	1,370 円
	・後援会費(年額)	25,000 円	・同窓会入会金	10,000 円
計 約 366,485 円				

## 8. 入学料免除制度、就学支援金制度、授業料免除(減免)制度

### (1) 入学料免除制度

入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者(学資負担者)が死亡した場合、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合など特別な事情により入学料の納付が著しく困難である者に対しては、申請に基づき選考の上、入学料の全額又は半額を免除する制度があります。

また、所定の期日に入学料の納付が困難な者に対して徴収猶予の制度もあります。

### (2) 就学支援金制度

高等専門学校1～3年生(在籍36ヶ月までの学生)に対して、就学支援金として月額9,900円(年額118,800円)が助成され、授業料に充当されます。これにより、保護者の方が負担される授業料の金額は、年額115,800円(前・後期57,900円ずつ)となります。

平成26年度に制度が変わり、平成26年度入学生から年収910万円程度以上の家庭は、助成の対象外となりました。

また、低所得世帯の学生については、保護者の所得に応じて就学支援金の額が加算されます。なお、制度の変更により、支給額等が変更になることがあります。

### (3) 授業料免除(減免)制度

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業成績優秀と認められる者に対して、申請に基づき選考の上、授業料の全額又は一部を免除(減免)する制度があります。

また、所定の期日に授業料の納付が困難な者に対して徴収猶予の制度もあります。

**平成24年度から学習成果や課外活動等において卓越した学生に対する授業料免除の制度もあります。**

## 9. 奨学金制度

人物、学業ともに優れ、経済的理由により著しく修学が困難な者を対象とし、本人の申請に基づき選考の上、奨学金を貸与する制度があります。(希望貸与金額を選択します。)

## 令和4年度入学生の貸与月額(日本学生支援機構)

### 第一種奨学金(無利子貸与奨学金)

区 分	1～3年	4～5年
自宅通学	10,000円、21,000円	20,000円、30,000円 45,000円
自宅外通学	10,000円、22,500円	20,000円、30,000円 40,000円、51,000円

※高学年(4年生以上)になると高等教育の修学支援新制度に基づく給付奨学金(及び授業料減免)や、第二種奨学金(有利子貸与奨学金)の制度等があります。

## 10. 学生寮

入学後、自宅から通学することが困難で入寮を希望する者は、WEB出願の際、入寮希望「有」と必ず入力してください。なお、入寮希望者が多い場合は、選考の上、入寮者を決定します。

### ◎学寮必要経費(月額) 令和5年度予定

寄宿料	700円(2人部屋)、800円(個室)	
食費	34,100円(1,100円/日)	1,100円×喫食日数
管理費	6,604円(9月・3月は徴収なし)	水光熱費・インターネット利用料金等
空調費	2,000円	電気料金、エアコンリース料等
月額合計	43,404円(2人部屋の場合)	

※金額の改定が行われた場合は、改定時から新料金が適用されます。

※上記のほか、寮祭等、寮生会主催行事の経費として、寮生会費(年額5,000円)の徴収があります。

## 11. 課外活動

本校では、豊かな心、自律の精神を養うことを目標に、次のクラブが活動しています。

◎体育部 サッカー、弓道、剣道、柔道、陸上競技、硬式野球、ソフトテニス、ラグビー、バレーボール、バスケットボール、卓球、バドミントン、水泳、ハンドボール、テニス、女子バスケットボール、女子バレーボール

◎文化部 吹奏楽、情報処理、低燃費車製作研究、ジャグリング

◎ロボット製作局 ロボット製作

◎同好会【体育部門】

ダンス、モータースポーツ、空手、筋トレ

【文化部門】

日本文化、フリーサイエンス、園芸、サブカルチャー研究、茶道、美術、写真映像、アコースティックギター、天文研究、ものづくり、軽音楽、ボランティア

## 12. 卒業後の進路

### (1) 就 職

本校では、昭和39年4月創立以来、約7,500人の卒業生を送り出し、産業界等からその能力は高く評価されています。毎年産業界の各方面から多数の求人依頼があり、昨年度の求人倍率は約24倍で、最近の主な就職先は次のとおりです。

#### ◆機械工学科

旭化成、味の素食品、出光興産、ANAグループ、ENEOS、大阪ガス、花王、カルビー、京セラ、京製メック、キヤノン、九州電力、クボタ、コニカミノルタジャパン、神戸製鋼所、国立印刷局、小松製作所、サントリー、資生堂、シマノ、島津プレジジョンテクノロジー、JR九州、セイコーエプソン、ソニー各社、第一精工、ダイキン工業、東京ガス、東京製鐵、東芝インフラシステムズ、東芝プラントシステム、JALエンジニアリング、JXTGエネルギー、ニコン、日本電子、日本精工、ニプロ、パナソニック・アプライアンス社、日立ビルシステム、ファナック、富士重工業、本田技研工業、ホンダロック、マツダ、三井金属鉱業、三井造船、三菱重工業、三菱電機、三菱電機エンジニアリング、宮崎日機装、宮崎ジャムコ、三浦工業、村田機械、メタウォーター、森永乳業、安川電機、山崎製パン、その他

### ◆電気情報工学科

旭化成、出光興産、AJS、NTT-ME、NTT フィールドテクノ、大分キヤノン、大阪ガス、小田原エンジニアリング、カネカ、関西電力、九州電力、京セラ国分、共立電機、キリンビバレッジ、坂田電機、サトーホールディングス、三和エレクトロニクス、JR 東海、JR 西日本、システム開発、積水テクノ成型、ソニーデジタルネットワーク、ダイダク、大日精化工業、中部電力、東急電鉄、東京エレクトロン、東京ガス、東芝プラントシステム、東芝メディカルシステムズ、トヨタ車体研究所、日新電機、日信電子サービス、日東電工、日本情報クリエイティブ、ニプロ、パナソニックアプライアンス、パナソニック LS エンジニアリング、日立ビルシステム、ファナック、FIXER、富士電機、三菱電機特機システム、三菱電機ビルテクノサービス、宮崎銀行、村田製作所、ムラテック CCS、メタウォーター、メンバーズ、安川電機、その他

### ◆物質工学科

旭化成、出光興産、宇部興産、王子製紙、カネカ、花王、関西電力、京セラ、霧島酒造、ゲンゼ、コスモ石油、サントリーブプロダクツ、三洋化成工業、沢井製薬、資生堂、昭和電工、JSR、JNC 石油化学、JNC エンジニアリング、住友精化、星光 PMC、双信電機、ソーラーフロンティア、ソニーセミコンダクタ、田辺三菱製薬工場、田中貴金属工業、武田薬品工業、ダイキン工業、大日精化工業、第一工業製薬、第一三共プロファーマ、第一三共ケミカルファーマ、中外製薬工業、ツムラ、DIC、東レ、JXTG エネルギー、東洋インキ SC ホールディングス、東洋環境分析センター、東洋新薬、東京ガス、東京電力ホールディングス、日本乳化剤、日東電工、日本触媒、日本血液製剤機構、日立ハイテクフィールドディング、ピー・アンド・ジー、富士通コンポーネント、丸善石油化学、宮崎県農協果汁、宮崎日機装、三井化学分析センター、三井製糖、メタウォーター、明治、雪印メグミルク、ライオン、その他

### ◆建築学科

竹中工務店、大林組、清水建設、戸田建設、五洋建設、フジタ、奥谷組、亀山建設、九鉄工業、鹿島クレス、大日本土木、東レ建設、東洋建設、日本国土開発、横河システム建築、松尾建設、吉原建設、坂下組、東条設計、益田設計事務所、大和ハウス工業、ヤマサハウス、UR コミュニティ、NTT ファシリティーズ九州、JFE シビル、TAK-イーヴァック、三菱ケミカルエンジニアリング、JP ハイテック、ツヅキ、TAK-QS、ダイキンエアテクノ、西日本高速道路ファシリティーズ、西日本鉄道、東急電鉄、日本空港テクノ、日本オーチスエレベータ、ジョンソンコントロールズ、新日本空調、花王、ザイマックスアルファ、三井不動産レジデンシャル、三菱地所コミュニティ、住友不動産、長谷工リフォーム、東京不動産管理、九州電力、関西電力、中部電力、東京ガス、大阪ガス、宮崎県庁、宮崎市役所、都城市役所、西都市役所、その他

## (2) 進 学

高専の卒業生が進学を希望する場合には、高専の専攻科に進学する道と大学の3年生に編入学する道の二つの選択肢があります。

高専の専攻科は、修業年限は2年間ですが、自分が希望する高度な専門的授業が受けられるように多くの科目が開設されています。専攻科の課程を修了し、一定の条件を満たした者については、大学の卒業生と同じように「学士」の学位が取得でき、大学院に進学することもできます。

また、国立・公立大学編入学に比べて納入費用が安く、授業料は半分以下、入学金は約3分の1となっています。

本校の専攻科には、「機械電気工学専攻」、「物質工学専攻」及び「建築学専攻」の3専攻があります。

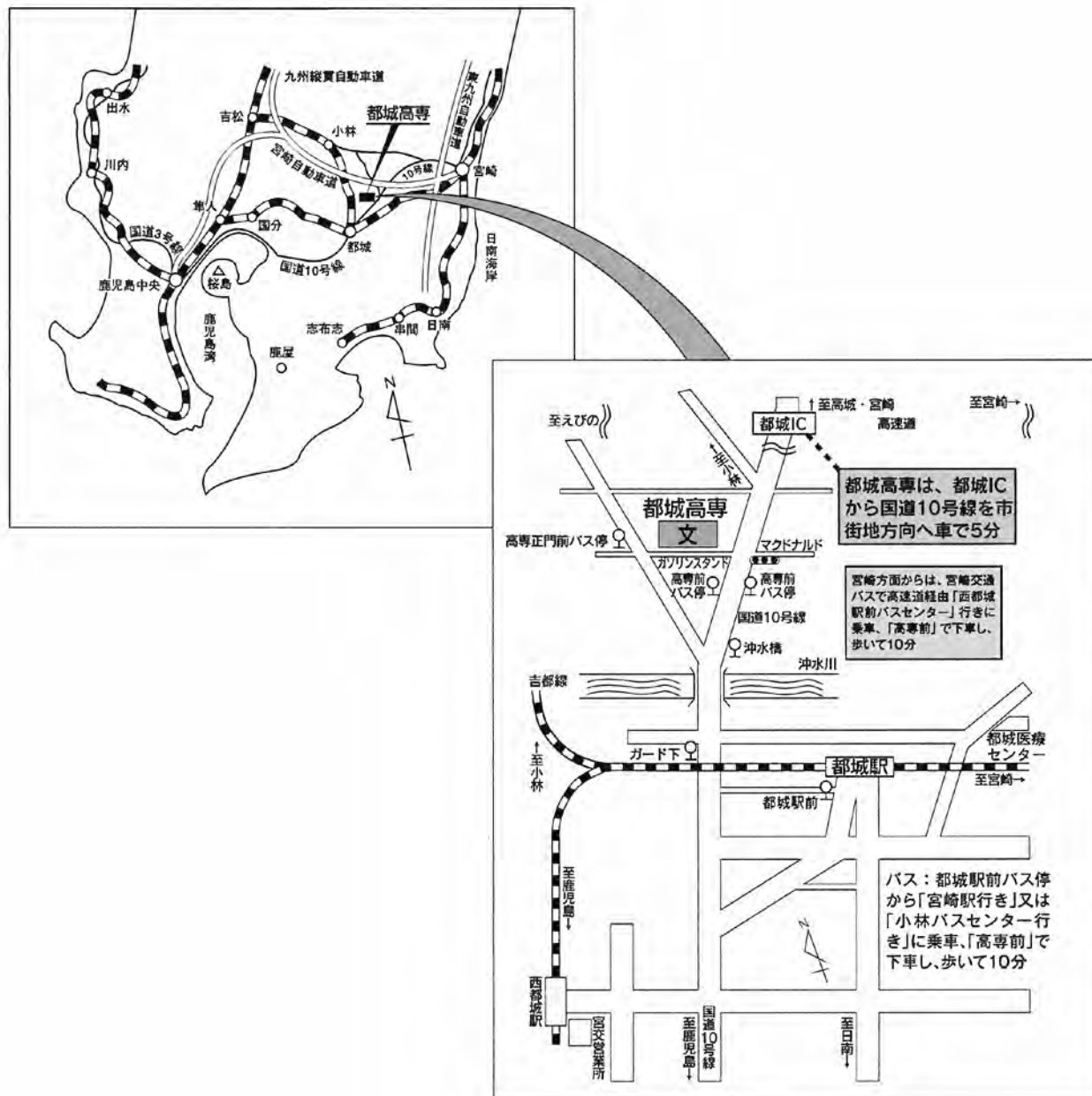
進学のもう一つの選択肢は、大学の3年生への編入学です。九州地区をはじめ多くの国公私立の大学が高専卒業生を受け入れています。

### ◆最近（5年間）の主な大学編入学先

東北大学、新潟大学、長岡技術科学大学、電気通信大学、東京農工大学、富山大学、豊橋技術科学大学、京都工芸繊維大学、広島大学、九州大学、九州工業大学、佐賀大学、熊本大学、宮崎大学、鹿児島大学、東京都立大学、神奈川工科大学、東京理科大学、日本大学、群馬大学、東京工業大学、東京通信大学、関東学院大学、名古屋大学、京都芸術大学、和歌山大学、大分大学

### 13. 検査会場案内図

都城工業高等専門学校  
宮崎県都城市吉尾町473番地の1



#### 検査会場までの案内

◎JR都城駅から約3.5kmです。

バス利用の場合は、宮崎交通バスで都城駅前バス停から「宮崎駅行き」又は「小林バスセンター行き」に乗車、「高専前」で下車してください。(バス所要時間約10分)

■都城駅……バス停「都城駅前」→ 沖水橋 → **高専前** ……高専  
10号線経由 (歩いて10分)

◎宮崎方面からのバス利用の場合は、高速道路経由「西都城駅前バスセンター」行きに乗車、「高専前」で下車し、歩いて10分です。



# 添付用紙等

◎調査書

◎推薦書（推薦選抜志願者用）

◎帰国生徒特別学力選抜海外在住状況説明書

◎追試験受験申請書（様式1、様式2）

◎あて名票（中学校用、本人用）

## 志願者の個人情報の取り扱いについて

入学志願者から提出された調査書等に記載されている情報や、WEB出願システムで入力した情報に加え、選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用し、適正な管理と保護に努めます。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入寮後の教育・指導
- (3) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (4) 奨学金申請の審査
- (5) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究



# 調査書

(推薦選抜・学力検査選抜 共通)

志願者	ふりがな						性別	生年月日	昭和・平成	年	月	日
	氏名							卒業年月	平成・令和	年	月	卒業 卒業見込
学習の記録	教科 評定	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術 家庭	外国語	評定 合計	
	第3学年											
	第2学年											
	第1学年											

※以下の枠内は推薦選抜のみ記入

特別活動の記録		特別活動以外の諸活動の記録及び特技
学級活動		※学校内外でのロボットコンテスト等創造的 活動の成績、数検等の各種資格
生徒会活動		
学校行事		
その他の特記事項		

この調査書の記載事項に誤りのないことを証明します。  令和 年 月 日  学校名  所在地  校長氏名	学校の電話番号
	記載責任者氏名
	印

き  
り  
と  
り  
線

## 記入についてのお願い

1. 本調査書は、出身学校長が作成してください。
2. 学習の記録の評定は、第1・2・3学年とも5段階評価で記入してください。  
なお、第3学年は、次のとおり総合評定を記入してください。  
**3学期制の場合……第3学年は、第1学期と第2学期の総合評定を記入。**  
**2学期制の場合……第3学年は、12月末現在の総合評定を記入。**
3. 特別活動の記録、特別活動以外の諸活動の記録及び特技の欄は、在学中の活動状況について記入してください。なお、該当がない場合は、斜線を引いてください。
4. 本調査書の学習の記録に係る訂正については、必ず校長の公印を押印してください。  
(学習の記録以外に係る訂正については、記入者の印を押印しても差し支えありません。)
5. 調査書の電子書式は、本校ホームページの入学案内に掲載しています。

### ※第3学年の評定についての記載方法

臨時休業等により第3学年の評定を記載できない場合は、その理由を付して記載不可とすること  
(例:「新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休業のため記載不可。」)。

### ※特別活動の記録等についての記載

臨時休業や大会、資格・検定試験等の中止等により、特別活動の記録等、記載できない場合は、その理由を付した上で、当初参加を予定していた大会名や資格・検定試験名などを記載すること  
(例:「〇〇〇に参加予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。」)。

評定について不明な場合は、お問い合わせください。

# 推薦書

独立行政法人 国立高等専門学校機構  
 都城工業高等専門学校長 殿

令和 年 月 日

所在地  
 学校名  
 校長氏名

公印

下記の者は、貴校の実施される推薦入学の基準に該当する者と認め、責任をもって推薦いたします。

## 記

ふりがな	氏名	男	生年月日	平成	年	月	日生
		女	志望学科				

## 推薦理由 (抽象的でなく具体的な事実に基づいて記入してください。)

① 志望学科に対する適性・興味・関心

② 人物所見
③ 学業成績
④ 特別活動 (生徒会、校外活動等)・部活動
⑤ その他 (入学後の学習指導及び生活指導に役立つと思われる事項があれば記入してください。)

記入責任者氏名

印



# 帰国生徒特別学力選抜 海外在住状況説明書

西暦 年 月 日

独立行政法人 国立高等専門学校機構  
都城工業高等専門学校長 殿

志願者氏名 \_\_\_\_\_

保護者氏名 \_\_\_\_\_ (印)

下記の記載事項は、事実と相違ないことを誓約いたします。

## 記

1. 海外在住地名

2. 海外在住期間 志願者 西暦 年 月 日 ~ 西暦 年 月 日

保護者 西暦 年 月 日 ~ 西暦 年 月 日

3. 出国前・海外在住中・帰国後の学歴

学 校 名	学校所在地 (国・都市名)	期 間

【備考】 特に参考になることがあれば、ご記入ください。



# 様式 1

令和 年 月 日

## 令和 5 年度都城工業高等専門学校入学者選抜 追試験受験申請書

独立行政法人 国立高等専門学校機構  
都城工業高等専門学校長 殿

フリガナ  
志願者 氏名 \_\_\_\_\_  
生年月日 \_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日生 ( \_\_\_\_歳)  
保護者 住所 \_\_\_\_\_  
氏名 \_\_\_\_\_ 印  
電話 \_\_\_\_\_

追試験の受験を下記理由により申請します。

### 記

1. 受験番号            ※49- \_\_\_\_\_  
   受験学科            \_\_\_\_\_ 学科

### 2. 申請理由

- 新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者と指定され本試験を受験できなかったため  
(自宅療養等の期間 令和 5 年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日～ \_\_\_\_月 \_\_\_\_日)
- 試験日直前に発熱や咳等の症状が発症し、新型コロナウイルス感染症の罹患が疑われ本試験を受験できなかったため  
※保健所等に相談のうえ医療機関等を受診し、その受診記録(領収書・薬袋など)を添付すること。
- その他( \_\_\_\_\_ )

※「その他」は、追加の選抜、追試験を認める要件に該当するが、医療機関等からの証明がもらえない特別な理由等があり、やむなく校長が証明する場合を想定しています。

### 3. 中学校等の長記入欄

上記申請理由が、事実と相違ない旨証明いたします。

学校名 \_\_\_\_\_ 立 \_\_\_\_\_ 中学校 校長名 \_\_\_\_\_ 令和 年 月 日 公印

担当者連絡先(電話番号) \_\_\_\_\_

## 様式 1

(注意)

1. 本申請書は、本試験終了後にすみやかに提出してください。

様式2

令和 年 月 日

令和5年度都城工業高等専門学校入学者選抜  
追試験受験申請書

独立行政法人 国立高等専門学校機構  
都城工業高等専門学校長 殿

フリガナ  
志願者 氏名 \_\_\_\_\_  
生年月日 \_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日生 ( \_\_\_\_歳)  
保護者 住所 \_\_\_\_\_  
氏名 \_\_\_\_\_ 印  
電話 \_\_\_\_\_

追試験の受験を下記理由により申請します。

記

1. 受験番号 ※49- \_\_\_\_\_  
受験学科 \_\_\_\_\_ 学科

2. 医療機関記入欄

上記の者が、感染症に罹患し、学校保健安全法施行規則に基づく出席停止期間は下記のとおりであることを証明いたします。

感染症の種類	<input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス	<input type="checkbox"/> インフルエンザ (A型・B型)		
	<input type="checkbox"/> 風疹	<input type="checkbox"/> 麻疹	<input type="checkbox"/> 流行性耳下腺炎	<input type="checkbox"/> 感染性胃腸炎
	<input type="checkbox"/> 水痘	<input type="checkbox"/> 結核	<input type="checkbox"/> 咽頭結膜熱	<input type="checkbox"/> 百日咳
	<input type="checkbox"/> 急性出血性結膜炎	<input type="checkbox"/> 流行性角結膜炎		
	<input type="checkbox"/> その他の感染症 ( _____ )			
初診日	令和 ____年 ____月 ____日			
出席停止期間	令和 ____年 ____月 ____日 ~ ____月 ____日			

令和 \_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

医療機関名 \_\_\_\_\_

医師名 \_\_\_\_\_ 印



# あて名票

( 中学校用 )

<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	( 学校名 )	( 住所 )
中学校長 殿		
※49-		

・※印欄は記入しないでください。

( 中学校用 )

<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	( 学校名 )	( 住所 )
中学校長 殿		
※49-		

( 中学校用 )

<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	( 学校名 )	( 住所 )
中学校長 殿		
※49-		



# あて名票

(本人用)

・合格通知書等は、志願者本人へ郵送しますので、本人の氏名、住所、郵便番号等を記入してください。

・※印欄は記入しないでください。

<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	(氏名)	(住所)	..... ..... ..... ..... ..... ..... ..... .....	殿 様 方	※49-
--	------	------	--	-------------	------

<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	(氏名)	(住所)	..... ..... ..... ..... ..... ..... ..... .....	殿 様 方	※49-
--	------	------	--	-------------	------

<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	(氏名)	(住所)	..... ..... ..... ..... ..... ..... ..... .....	殿 様 方	※49-
--	------	------	--	-------------	------